

2018年9月28日

i3タイプのBCをお使いの
ユーザー様及びお得意先様

日本アクアラング株式会社

お問い合わせ www.aqualung.com/jp → サポート →
→ お問い合わせフォームより送信してください
または support@aqualung.co.jp

注意喚起 (リコールではありません)

i3タイプのBCの右肩フラットEバルブのパーツ・シールプレートについてのお願い

i3タイプのBCの右肩部フラットEバルブのシールプレートを交換させていただきます。
シールプレートの“引っ掛かり”が発生する潜在的な可能性を未然に防ぐ措置となります。

ご注意 (ユーザー様へ)

現在、右肩のフラットEバルブが正常に使用できていれば、潜在的な危険性は低いので急いでパーツを交換する必要はありません。しかし念の為に次回のオーバーホールや点検の際は、必ず交換される事を、依頼されるショップさんにご確認願います。

【対象】 基本的に2015年以降に製造されたi3タイプのBCが対象品です。

- ※ シリアルタグのLOT#が、15000~18△△△で始まるもの
- ※ 2018年7月18日以降に弊社から出荷されたものは対象外です。
- ※ 2014年以前に製造された製品でもレトロフィットキットに交換された物は対象となりますが、日本での正規ルートでの流通はありません。
- ※ 念の為、2014年以前の製造品であっても、2枚目のAの作動点検を行い、不具合があれば弊社までお送りください。
- ※ 不明な物をご遠慮なくメールでお問い合わせください。その際はシリアルナンバーとロットナンバーをご連絡ください。お得意先様は担当営業マンにお尋ねくださいませ。
- ※ 対象外の製品であっても次回の点検やオーバーホール時には必ず新型のパーツへ交換をしてください(パーツ代無償)
- ※ 2014年以前に製造のものでレトロフィットキットに交換されていない物は、レトロフィットキットに交換の上で、グレーのシートプレートに交換してください。

製造年の判別はシリアルタグで確認可能です。



【背景】 この件に関する実際の人的被害や事故は報告されていません。

極まれではありますが、ひもを極端に強い力で引いてフラットEバルブを開けて空気を放出した際に、シールプレートがきちんと元の位置に戻らずに、引っ掛かる潜在的な可能性がある事が判りました。“引っ掛かり”が発生する確率は極まれではありますが、シールプレートが戻らない場合はBC内の空気保持ができませんので、危険です。

！ 確認： あくまでも右肩のひもを引っ張るフラットEバルブでの潜在的な可能性であり、i3レバーに関する現象ではありません。
またi3タイプではない、通常のインフレータータイプのBCは構造が異なりますので、対象外です。



フラットEバルブ



シールプレート

シール

ディーラー
専用ページ



こちらの文書と同じものをアクアラングのディーラー専用ページ(www.aqualung.co.jp/customer)でもご覧いただけます。



潜在的な危険性を取り除くために、#415401のシールプレートと呼ばれるパーツの形状を変更致しました。外見から変更したパーツが判別できる様に、シールプレートの色を黒からグレーに変更しました。グレーのパーツは潜在的な“引っ掛かり”を無くす為に、突起部のかどを落として斜めにしています。



皆様にお願ひしたい事

A i3タイプのBCをお使いのユーザー様

大変お手数ですが、ご自分のBCの右肩のダンプバルブを陸上で強めに引いて頂き、その後再度給気してください。空気をBC内部に保持できているか?(=右肩のシールプレートがきちんと閉まっているか?)をご確認願ひします。この確認はダイビングショップやサービスのインストラクターと一緒にされる事をお勧めします。

万が一、右肩のフラットEバルブから空気が漏れてBC内に空気を保持できない場合は直ちにご使用を止めて、下記の弊社迄トラック便の着払いでお送り願ひします。この場合、弊社にて新型のパーツ(グレー)に交換し、1週間程度でご返却させていただきます。

なお、空気を保持できる場合であっても、遠慮なく弊社にお送り頂ければ、グレーのパーツに交換させていただきます。

※交換作業はユーザー様ご自身では行わない様にお願ひ致します。

B 対象となるi3タイプのBCの在庫をお持ちのお得意先様

お手数ですが、在庫品をご確認頂き、古い(黒い)パーツが付いているものは、新型のパーツにご変更願ひします。貴店での作業が困難な場合は弊社に着払いでお送り頂くか、弊社営業マンまでご相談をお願ひ致します。可能な場合は弊社営業マンがお伺いさせて頂き、貴店で交換作業を実施させていただきます。

C オーバーホールやメンテナンス業務をされるお得意先様

グレーのパーツを無償供給させていただきますので、担当営業マンまでご相談をお願ひ致します。

今後、i3タイプのBCのオーバーホールや点検をされる際は、古い(黒い)パーツからグレーのパーツへ交換をお願ひ致します。

なお今後は、i3メンテナンス用のサービスキット(#921220)にはグレーの新型パーツが含まれます。

また、2014年以前のモデルに関しては、#442647 レトロフィットキットに交換の上でグレーのパーツへ交換してください。

※弊社へ直接ご返送頂く場合は、差支えが無ければ、ゆうパック(日本郵便)の着払いにてお送り頂けましたら幸甚に存じます。

【送付先】 日本アクアラング株式会社 TB52i3点検係

〒243-0033 神奈川県厚木市温水(ぬるみず)2229番4 電話(046)247-3222

フラットEバルブのシールプレート交換方法

弊社、または弊社指定のダイビングショップ/サービス/メンテナンス業者にて行ってください。
ユーザー様ご自身では行わない様をお願い致します。

分解手順

- 1** 右肩部のフラットEバルブの両端にあるカギ爪を外側に同時に押しながら、12時方向(作業者から見て前方)にスライドさせて上部の“ふた”を外します。排気弁とその排気プレート(台座)が見えて来ます。



注意: もし“ふた”が外れない場合は、両端の爪を押しつつ、ふたを上部に引き上げながらスライドさせてください。

- 2** 排気弁をめぐって、小さい六角レンチで排気弁の排気プレートを引き上げる様に注意深くはずしてください。排気弁は排気プレートから外さないでください。(排気弁を交換する場合を除く)



警告: 排気プレートや排気弁に傷をつけない様に注意深く作業をしてください。

- 3** ひもを引っ張るか、もしくは指でシールプレートを押し下げてください。押し下げた状態で上方にシールプレートを土台から出してください。



- 4** シールをシールプレートから外してください。指でシールの端っこをつかみ突起部分を引き抜いてください。



- 5** ベローズをスライドさせてシールプレートから外してください。ひもの結び目をほどく作業をしやすいようにバネを押し下げた状態で行ってください。結び目をシールプレートから出して、ほどくと、ひもからシールプレートを外せます。



組立手順

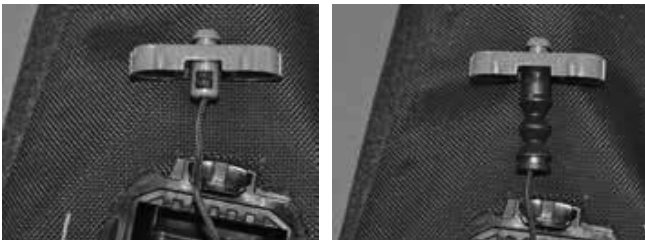
1

ひもをグレーのシールプレートに通します。エイトノットで先端を結んでください。



2

ひもの結び目は完全にシールプレートへ納めてください。
ペローズをシールプレートにセットします。



3

シールをシールプレートにセットします。この際シールの突起矢じり部分がシールプレートにきちんとはまっていて、外れない事を確認してください。



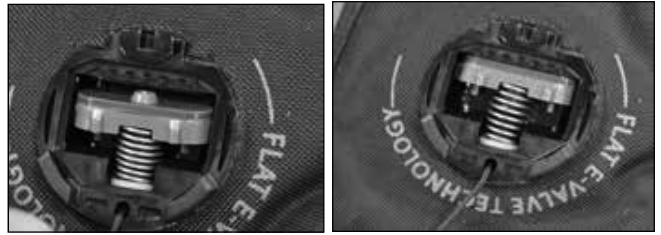
4

ペローズをスプリングとワッシャーにセットしてください。この際ワッシャーが正しくペローズにはまっている事を確認してください。



5

シールプレートを土台にセットします。スプリングを押しながらシールプレートを斜めにしながら土台にはめてください。その後正しい位置にセットしてください。



6

ひもを引っ張って作動確認をしてください。この際シールが均等に土台に接着する事を必ず確認してください。



7

排気弁と排気プレートに亀裂や変形などの劣化が無い事を注意深く検査してください。必要な場合は新品交換してください。排気弁側を上向きにしてセットしてください。また排気プレートが平行(均等に)土台にセットされる事を確認してください。



警告： 柔らかい排気プレートの端部の損傷を避けるために注意して土台にはめる必要があります。排気プレートが適切にはめこまれている事を確認する為に、平行(均等に)排気プレートを押して見て、土台にしっかりセットされているかチェックしてください。

8

フラットEバルブのふたをスライドさせながらセットしてください。その際カギ爪がしっかりとハマって、ふたがロックされて動かない事を確認してください。この作業をする際は、作業中に排気弁がめくれてしまわない様に慎重に行ってください。

